

Server Security 12 から 14/15 へのバージョンアップについて

現在、旧製品に対するバックエンドサービス停止のアナウンスにともない、Business Suite Server Security (SS)14/15 関連お問い合わせを頂いております。当記事では SS14/15 にバージョンアップする際の相違点を解説いたします。

バージョン毎の差異について

弊社製品のバージョンアップにおける機能差異や動作差異について、プロダクション環境への影響を懸念される場合、お手数ですがテストバージョンアップ等の検証を行って頂く事をおすすめいたします。弊社製品は各バージョンリリース時点のセキュリティ動向に対応する形でソフトウェア調整を行っております。バージョンアップによるプロダクション環境への影響等は弊社では保証する事はございません。

バージョンアップにおいてセキュリティを担保するメインの機能(リアルタイムスキャンの有効/無効等)について、セキュリティ低下を招くような変更はございません。しかしそれ外のソフトウェアの振る舞いについてはウイルストレンド動向により変更が発生する可能性があります。これは自動アップデートのチャネル配信等を通じて、自動的に行われる可能性もあります。ウイルス検知時のオペレーションをマニュアル化しているような場合、バージョンアップ時の動作差異に応じてオペレーションも更新する必要性が発生する可能性があります。固定化したオペレーションはウイルス製作者のターゲットにもなる為、告知なく変更が発生する点についてご了承いただけますと幸いです。(2021年6月8日)

Policy Manager の利用について

現在、Service Security のインストール/運用において Policy Manager は必須となります。ServerSecurity は JAR 形式でのみ配布を行っており、JAR ファイル単体でのインストールは不可能です。また、ServerSecurity の詳細な設定やウイルス検知のアラート管理等も Policy Manager を介して行っていただく設計となっております。ServerSecurity 自身にも GUI が装備されておりますが、基本的な操作のみとなります。Policy Manager は ServerSecurity と同じサーバにインストールできます。今後の詳細設定変更等の必要性を考慮し、少数台インストールであっても Policy Manager をインストールした状態で運用をお願いします。

Firewall 機能について

Server Security (SS)14/15 は Firewall 機能は搭載されておられません。Windows Firewall 機能をコントロールする機能が搭載されております。この機能はデフォルトで有効の為、Server Security (SS)14/15 のインストールを実施した段階で Windows Firewall が有効化されます。旧製品で Firewall 機能を利用していなかった場合、Policy Manager か、製品 GUI で無効化を行ってください。

Firewall 機能を利用される場合、下記ナレッジで紹介させて頂いている「Windows Firewall 機能と F-secure Firewall との違い」をご参照いただき、Windows Firewall を設定してください。

ClientSecurity/ ServerSecurity(Protection) 14 以降のファイアウォール機能について

<https://community.f-secure.com/ja/kb/articles/3188>

スタンドアロンインストールについて

旧バージョンではスタンドアロンでのインストールが可能でしたが、現行バージョンはインストーラをポリシーマネージャで生成する為、ポリシーマネージャアドレスを指定する事が必要です。Server Security 旧製品では 0.0.0.0 を指定する事でスタンドアロンインストールが可能でしたが、現在はサポートされておりません。

※ポリシーマネージャを同居させる場合、127.0.0.1 のように自身を指定してください。

ポリシー マネージャとの通信を設定する

ポリシー マネージャ サーバのアドレスを指定してください。サーバの IP アドレス、WINS または DNS 名を使用できます。HTTPS または HTTP 通信のポートも指定して、環境に応じて接続先のホストの識別方法を選択できます。

ポリシー マネージャ サーバのアドレス:	<input type="text" value="127.0.0.1"/>
HTTP ポート:	<input type="text" value="80"/>
HTTPS ポート:	<input type="text" value="443"/>